



テレビデオ鑑賞記

担当 chica

「映画を観る」の失敗にめげることなく、形を変えてテレビデオに組み込んでみました。
映画の話をみんなで楽しく出来ればいいと思います。



ショコラ

監督:ラッセ・ハルstrom 主演:ジュリエット・ピノシュ、ジョニーデップ

story

ヴィアンヌは6歳の娘アヌークと、カカオの効能と不思議な力で人々に幸せを伝えるという風変わりな使命を持った祖先に習い、北風に導かれるまま世界を転々と旅して暮していた。そしてまた新しい街で頑なな人々の心を溶かしていく…。

< chica > なんの知識もなく薦められてみましたが、とてもよい映画でした。この監督は「ギルバートグレイブ」の人なんですね。役によって役者への評価が違ってくるといのが、この映画でのJデップにあてはまりました。

< Cacao > 映像がきれい。町にやってくる親子の赤いマントが印象的。旅から旅の生活への想いを全て吹っ切ったわけではない母親が、町に留まる決意をする気持ちが切ない。でも概ねハッピーエンドなところがいい。



A.I.

監督:スティーブン・スピルバーグ監督 主演:ハーレイ・ジョエル・オスメント、ジュード・ロウ

story

モニカは、実の息子マーティンが難病を患い冷凍保存されたままになってしまったために、愛の対象の代替物として、AI(人工知能)の初めての子供、デイビッドを引き受けることにした。ある日、冷凍保存から甦った息子が帰ってきて、お母さんの愛を求めるデイビッドは……。キューブリックが長年温めていた企画を、スピルバーグが映画化。

< chica > もっと面白いと思った！人間の身勝手さとAIの思い込みとで疲れた。永遠って言葉が好きじゃないから、最後の展開も苦手。でもJ・ロウはよかった。

< 日出彦 > 主人公の少年、それとも少年型というのか、が可愛かったのを覚えています。一言でいうと、さみしいけれどほのぼの映画、というところでしょうか。あんまり感想にはなってませんが、というところでしょうか。

<Cacco> なにしる期待して映画館に行っちゃったからなあ。母親が典型的で冷た過ぎ。全然期待していた内容じゃなかったの、キューブリックが全編を撮っていたらどうなっていたのかと、そんなことが気になる。この間「シャイニング」を久しぶりに観てす、すごい!と思ったもので。



ドリブン

監督:レニー・ハーリン 主演:シルベスター・スタローン ティル・シュヴァイガー

story 元天才レーサーの再生までの道のりを描いた映画。らしい。ってあんた、見たんでしょ?

<chica> だって私にとってはアイドル映画。ティルとキップ・バリュデューがベテランと新人レーサーで出演。女の人の役どころがいやらしかった。レーサーから離れられない女って風でレーサーを渡り歩き、レース場を闊歩してるの。ワールドカップでイングランドの試合に、ベッカムの奥さんが監督と並んで座ってるのって変でしょ?そんな感じ。ティルが、ライバルのスタローンの前で彼女に振られたって泣くところなんて首かしげちゃう。レースに向かうレーサーたちに子供が「帰ってきてね」と手紙を渡したりするのを見ると、生還できないことも覚悟してるんだなあって思うけど、命かけてる男ってこんなに単純・・・じゃなくて、純粹なの?

画面は、スクリーンで見ていたら気持ちが悪くなるだろうと思うほどのカメラワークだった。

久しぶりに見たスタローンは、なんだか田中邦衛みたいだった。(怒る人いる?)



ミート・ザ・ペアレンツ

監督:ジェイ・ローチ 主演:ロバート・デ・ニーロ、ベン・スティラー

story 厳格な父親に娘へのプロポーズの許可をとるために奮闘努力するが、やることなすことが裏目に出てしまう…。

<chica> つい観てしまう俳優の一人に、R・デ・ニーロがいる。ワールドポーターズに映画を見に行ったときに、あまりにも気持ちがよい天気でお茶を飲んでしまい、そのときにかかっていたのがこの映画。もっと笑えるのかと思っていたら、ビデオのせいもあるのかもしれないけど全然コメディしてなくてだめだった。やっぱり、お茶飲んで正解だったみたい。



こんな感じで 不定期連載テレビデオ を再開しました。

日出彦さん、Caccoちゃん 急な我儘な要望に答えてくれてありがとっ。

みんな～っ!参加してね～っ!!